

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会

事 業 報 告

平成30年度において、船橋市社会福祉協議会（以下、「市社協」という。）は、地域の皆様が安心して暮らしていけるよう、住民相互のつながりや支え合いによる福祉のまちづくりに向け、各事業を進めました。

平成28年度からスタートした『第3次船橋市地域福祉活動計画』に基づき、共助（互助）の視点から、取り組むべき重要4項目を含め、地域における実践的・具体的な活動に取り組んできました。

平成27年度から実施している**生活支援体制整備事業**においては、24地区社会福祉協議会に生活支援コーディネーターの配置が完了し、地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という。）の登録ボランティア及び住民相互の助け合い活動を行う『たすけあいの会』の確保・育成及び支援に努めました。

次に、**安心登録カード事業**については、地域における日頃からの住民同士の「顔の見える関係づくり」を進めるなど、幅広い活動により登録者は昨年度に比べ増加し、暑中見舞いなどの見守り活動も各地区社協で行われました。

住宅相談窓口「**住まいるサポート船橋**」では、ひとり暮らし高齢者のほか、ひとり親家庭や障がいのある方、外国籍の方などからの相談が増加しました。また、若年代層から福祉に対するきっかけ作りなどを図ることを目指して、船橋市教育委員会と連携した総合学習支援事業として、福祉読本「やさしい気持ち」を作成し、主に市内公立小学校4年生などに約7千冊を配布しました。

さらに、企業や家庭で不要となっている食品や食材を募集し、それを必要としている施設等に無償で提供する「**フードドライブ**」に参加しました。

そのほか、自主事業である福祉銀行の貸付や千葉県社会福祉協議会からの受託事業である生活福祉資金の貸付事業を行ったほか、高齢者等の自立した生活を支援する日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）の実施、指定管理者としての中央・南老人福祉センターの管理運営、高齢者や障がい者の社会参加などをすすめるための一般貸切旅客自動車借上利用事業など、各種受託事業又は補助事業を実施しました。

共同募金関係では、プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」の赤い羽根サポーター宣言を受け、地区社協の子育てサロン事業に選手などの参加や船橋アリーナでの公式戦時に募金活動などの社会貢献活動に協力しました。

また、収入面では会費（賛助・特別・団体・法人）の勸奨や収益事業である自動販売機事業、馬込斎場売店の運営を行い、市社協の運営基盤強化を図りました。

重点事項	施策の内容	成果
1) 社会福祉協議会の基盤強化及び自主財源の確保	(1) 個人会員・賛助会員等の増を図る	<p>会員増強のため、「ふなばし福祉」にPR記事を掲載するとともに、町会・自治会長宛に賛助会員の協力依頼を行った。 また、特別・団体・法人会員についても協力依頼を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員 23,922,617 円 ・特別会員 509,000 円 ・団体会員 1,034,700 円 ・法人会員 1,335,000 円 合計 26,801,317 円 ※対前年度 △ 182,244 円
	(2) 収益事業の継続運営	<p>馬込斎場売店運営については、商品単価の値上げなどを行い、収入増となった。 自動販売機(飲料水)については、収入減となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機設置台数 70 台
	(3) 自主事業による財源確保	<p>入れ歯回収ボックスを市役所や老人福祉センター、地区社協に設置し、財源確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入れ歯回収ボックス設置 30 か所 回収個数 397 個 還元金 112,544 円
2) 地区社会福祉協議会の充実強化を図るための支援	(1) ミニデイサービス事業の充実(24地区で実施)	<p>公民館などの公共施設や町会・自治会などにおいて、健康づくりなどを推進するために実施し、多くのボランティアの協力を得て、地域福祉の推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 695 回 ※前年度実施回数 700 回
	(2) ふれあい・いきいきサロン事業の充実(24地区実施)	<p>公民館などの公共施設や町会・自治会館などにおいて、高齢者及び障がい者、子どもたちが気軽に参加し、世代を越えた仲間づくりなどの場として実施することにより地域福祉の向上が図られた。</p>

重点事項	施策の内容	成果
		・実施回数 741 回 ※前年度実施回数 631 回
	(3) 子育てサロン事業の推進 (24地区実施)	地域内で子育てについて情報交換や相談をする場が少ない親子を対象として、親子同士が交流できる場を提供し、子育て支援を推進した。 ・実施回数 530 回 ※前年度実施回数 454 回
	(4) ボランティア育成事業の充実 (24地区実施)	新たなボランティア登録者の発掘や、継続したボランティア活動を行うための研修や講座を実施し、ボランティアの確保・育成に努めた。 ・実施回数 162 回 ※前年度実施回数 148 回
	(5) 地区社協広報紙の発行(24地区で発行)	地区社協では、年間1～7回広報紙を配布し、情報の提供を行った。 ・発行回数 66 回 ※前年度発行回数 66 回
	(6) 地域福祉まつりの充実(24地区で開催)	多くの参加者を得て各種団体との連携、交流が図られたほか、啓発活動にも努め、福祉への関心を高めることに努めた。 ・実施回数 35 回 ※前年度実施回数 34 回
	(7) 福祉相談事業の推進(24地区で開催)	地域住民の身近で気軽に相談ができる窓口を地区社協に開設し、地域の関係機関・団体や行政と連携しながら、福祉相談の解決に努めた。 ・相談件数 4,378 件 児童相談 384 件 介護相談 364 件

重点事項	施策の内容	成果
		医療相談 295 件 家族関係相談 89 件 隣人関係相談 79 件 障がい児者相談 68 件 その他 3,099 件
	(8) 自主事業の推進	地域における住民相互のふれあいや交流、健康づくりなどを目的とした事業を実施し、地域福祉の推進が図られた。
	宮本地区社協	・カラオケ大会 1 回 ・ボッチャゲーム大会 1 回
	湊町地区社協	・それいゆ大学 20 回 ・ようろうゲーム 20 回
	法典地区社協	・多目的サロン 12 回
	夏見地区社協	・高齢者演芸大会 1 回 ・子ども将棋大会 1 回
	高根・金杉地区社協	・世代間融合クリスマスコンサート 1 回 ・シルバーリハビリ体操 10 回
	高根台地区社協	・多目的サロン 51 回
	前原地区社協	・健康体操 18 回
	習志野台地区社協	・ゆる体操 23 回
	二和地区社協	・はつらつ健康教室 12 回 ・シルバーリハビリ体操 21 回
	松が丘地区社協	・グラウンドゴルフ大会 1 回

重点事項	施策の内容	成果
	坪井地区社協	・親子塾 3回
	(9)活動拠点整備事業の推進	地区社協がミニデイサービスや子育てサロンなどの各事業を行うにあたり、市補助金を活用することにより、安定した会場確保ができ、地域福祉の推進が図られた。
	宮本地区社協	・拠点整備 使用回数 185回
	湊町地区社協	・拠点整備「それいゆ」 使用回数 134回
	葛飾地区社協	・拠点整備 使用回数 140回
	高根台地区社協	・拠点整備「楽し荘」 使用回数 350回
	習志野台地区社協	・拠点整備「地区社協事務所及び活動拠点」 使用回数 0回
	二和地区社協	・拠点整備「なごみ」 使用回数 121回
	松が丘地区社協	・拠点整備「どんぐり」 使用回数 251回
	坪井地区社協	・拠点整備「つばい福祉交流館」 使用回数 229回
	夏見地区社協	・拠点借上「自治会館」 使用回数 13回
	高根・金杉地区社協	・拠点借上「自治会館」 使用回数 20回
	二宮・飯山満地区社協	・拠点借上「自治会館」 使用回数 13回

重点事項	施策の内容	成果
	三田習地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点借上「三山市民センター」 使用回数 33回
	三咲地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点借上「自治会館」 使用回数 20回
	八木が谷地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点借上「自治会館」 使用回数 41回
(10) ひとり暮らし高齢者等地域交流促進事業の推進	<p>湊町地区社協</p> <p>高芝地区社協</p> <p>前原地区社協</p> <p>二和地区社協</p>	<p>地区社協で市補助金を活用し、ひとり暮らし及び日中一人になる高齢者で引きこもりがちな方や介護保険認定外(自立判定者)の方の地域交流、閉じこもり防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイ銭湯実施回数 24回 ・移動ミニデイ実施回数 1回 ・移動ミニデイ実施回数 2回 ・移動ミニデイ実施回数 1回
(11) 地区社協事務局員の充実強化		<p>多様化する福祉ニーズに対応できるようにブロックごとなどで事務局員の研修を実施、資質の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換「障害者の活動の場の状況」
(12) 地区社協の育成及び支援		<p>市社協ホームページを活用し、情報の提供及び共有に努めた。また、ミニデイサービスなど主要5事業及び自主事業などの充実強化に努めた。</p>
3) 地域福祉活動計画の推進	第3次活動計画の推進	第3次活動計画の推進に努めた。

重点事項	施策の内容	成果
4) 安心登録カード事業の促進	安心登録カード事業の推進	<p>日頃の見守り活動を行うことにより、災害時及び緊急時における要配慮者の救援・支援を図るため、24地区社協全てで実施している。引続き、町会・自治会や民生児童委員などの関係機関・団体やボランティアなどと連携を図り、事業の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心登録カード事業登録者数 <ul style="list-style-type: none"> 登録者数 19,822 人 内訳 (男:7,578人・女:12,244人) ・電話等見守り活動 (補助金対象以外も含む) <ul style="list-style-type: none"> 実施地区社協 18 地区 (高齢者福祉課対象2地区含む) 見守り回数 23,123 回 見守り対象者数 8,247 人 見守り活動者数 495 人
5) ボランティアセンター事業の充実	(1) ボランティアセンターの運営	<p>ボランティアの相談及び登録業務を地区社協などの協力を得て行った。また、専門的なボランティア講座などを開催し、知識や技術の向上に努めるとともに、入門講座を開催し、新たなボランティアの発掘や活動の意識を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ボランティア依頼件数 190 件 ・ボランティア登録人数 4,270 人 <ul style="list-style-type: none"> 【内訳】グループ 215 グループ 3,867 人 個人 403 人 ・東日本大震災等被災者支援の災害ボランティア新規登録者数 <ul style="list-style-type: none"> 137 人 【内訳】 市内 109 人 市外 20 人 県外 8 人

重点事項	施策の内容	成果
	(2) ボランティア団体との連絡	<p>ボランティア連絡協議会が行う研修会や運営委員会に出席し、運営に協力した。</p> <p>また、各ボランティアグループの活動に対し、助言及び支援に努めた。</p>
	(3) ボランティア研修・講座の開催	<p>ボランティアの心得や知識を学び、資質の向上に努めた。</p> <p>また、ボランティア同士の情報交換の場として交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生ボランティア養成講座 17 人 ・シニアボランティア研修会 215 人 ・地域に飛び出せ！！ ふなばし夏のボランティア体験 324 人 ・「障がい者・ボランティア交流の集い」 105 人 ・ふれあい交流研修会 42 人
	(4) 福祉教育の推進 ※市社協指定校 小学校 54校 中学校 27校 高校 15校	<p>福祉教育推進指定校に対する取り組みとして、学校での体験学習(車椅子及び高齢者疑似体験など)に伴う職員及びボランティアの派遣や用具の貸出しによりその支援に努めた。</p> <p>また、主に小学4年生を対象として「福祉読本」を配布し、福祉を学ぶきっかけづくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉読本「やさしい気持ち」配布 配布数 6,796 冊 主な配布先 小学校54校、地区社協、ボランティアグループ ・車椅子及び高齢者疑似体験等実施校 小学校 26校 総数 30回

重点事項	施策の内容	成果
		対象児童数 3,149 人 協力ボランティア数 329 人 中学校 4校 総数 6回 対象児童数 801 人 協力ボランティア数 107 人
	(5) 福祉用具等の貸し出し	<p>車椅子の必要な方や地域福祉まつり、ボランティア入門講座や研修会、学校の体験学習などに貸出しを行い、福祉の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出件数(体験学習含む) 127 件 451 台 ・高齢者擬似体験用具貸出件数 26 件 161 セット ・アイマスクの貸出件数 30 件 1,046 個 ・点字板の貸出件数 5 件 156 個 ・白杖貸出件数 7 件 75 本
6) 災害時ボランティア活動等の検討	災害時におけるボランティア活動等の検討	<p>災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を行い、関係機関・団体と課題や情報の共有を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ訓練 開催日：平成30年12月1日(土) 場 所：船橋市総合教育センター 視聴覚センター 参加者数 92 人 ・シェイクアウト訓練 開催日：平成30年8月27日(月) 参加者数 18 人
7) ふなばし高齢者等権利擁護センター事業の推進	市民に対する制度の周知徹底と利用促進	<p>判断能力が十分でない高齢者や障がい者が自立した地域生活を送れるよう、生活支援員(14人)の協力及び関係機関との調整を図り支援に努めた。</p> <p>また、市委託事業として成年後見制度の周知と市民後見人の養成を目的に、「初心者のための市民後見人養成講座」を行った。</p>

重点事項	施策の内容	成果
		<p>・初心者のための市民後見人養成講座</p> <p>開催日:平成31年2月10日(土)、 2月23日(土)</p> <p>場 所:中央公民館 1日目:第8集会室 2日目:第3.4集会室</p> <p>修了者:12人 (申込者:20人)</p> <p>【権利擁護センター(ぱれっと)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護相談延件数 115 件 ・全体の契約件数 68 件 ・新規契約件数 20 件 ・解約件数 15 件 ・高齢者法律相談受付件数 31 件 <p>※主な相談内容(相続・成年後見、遺言)</p>
8) 低所得対策事業の促進	低所得対策事業として、福祉銀行・生活福祉資金の貸付	<p>福祉銀行の貸付及び償還については、市担当課との連携強化に努めた。また、滞納者については督促状を送り、償還率アップに努めた。</p> <p>また、生活福祉資金では、貸付困難ケースへの対応や償還指導について、市担当課や民生児童委員との協力関係の強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉銀行貸付 <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 1,452 件 金銭交付 36 件 10,980 円 貸付金 769 件 7,858,708 円 償還金 805 件 7,664,298 円 ・生活福祉資金貸付 <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 2,454 件 教育支援資金 157 件 126,098,600 円 福祉資金福祉費 44 件 7,930,600 円 緊急小口資金 43 件

重点事項	施策の内容	成果
		<p style="text-align: right;">3,814,600 円</p> <p>総合支援資金 0 件 0 円</p> <p>臨時特例つなぎ資金 0 件 0 円</p> <p>不動産担保型生活資金 1 件 9,471,000 円</p> <p>要保護世帯向け不動産 担保型生活資金 1 件 5,257,000 円</p> <p>生活復興支援資金 0 件 0 円</p> <p>※生活福祉資金の償還は 県社協が事務処理</p>
9) 老人福祉センター 管理運営の推進	老人福祉センターの運営充 実	<p>老人福祉センターを利用することにより、高齢者の生きがいや健康づくり及び教養の向上が図られるよう各種相談活動やサークル活動、クラブ活動などの促進に努めた。</p> <p>・中央老人福祉センター 利用者累計 55,308 人 1日平均利用者数 186 人</p> <p>・南老人福祉センター 利用者累計 57,702 人 1日平均利用者数 198 人</p>
10) 高齢者・障がい者 などの地域生活の 支援	(1) 在宅福祉サービス事業の促 進	<p>高齢者や障がい者の通院、施設への入所、ミニデイサービス事業への送迎に貸出しを行い、在宅福祉の向上に努めた。</p> <p>・リフトカー貸出利用者数 延 25 人</p> <p>家事援助などの生活支援サービスが多くボランティアの協力によって実施された。</p> <p>・たすけあいの会把握団体数 51 団体</p>

重点事項	施策の内容	成果
		<p>地域住民同士が交流を図るとともに、ボランティア活動を通じて精神に障がいのある人の在宅生活の自立訓練にも活用されている。</p> <p>・お休み処 「ホッとこころ咲が丘」 来場者 延 2,484 人 1日平均 11 人 ボランティア数 18 人</p> <p>「ほっとスクエア夏見」 来場者 延 2,859 人 1日平均 13 人 ボランティア数 24 人</p> <p>・おもちゃの図書館の運営 東図書館 利用者 延 276 人 西図書館 利用者 延 180 人</p>
	(2) 地域包括ケアシステムの構築 (生活支援コーディネーターの配置)	<p>高齢者になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指し、地域での支え合いの体制を構築し、生活支援サービスを促進するため、市委託事業として生活支援コーディネーターを各地区社協に配置した。</p> <p>・配置地区社協 24 地区</p>
	(3) 生活困窮者自立支援事業 (就労準備支援・ボランティア関係)	<p>市委託事業として生活困窮者自立支援事業利用者の社会的自立プログラムに位置づけ、地区社協事業などでのボランティア活動を活用した。</p> <p>・ボランティア活動延利用回数 81 回</p>
11) 福祉情報の提供	(1) ふなばし福祉の充実	<p>広報紙を全戸配布することにより地域住民に福祉に対する理解が得られるよう年3回発行し、情報提供に努めた。</p> <p>・発行号数 93号から95号 発行部数 606,000 部</p>

重点事項	施策の内容	成果
		<p>インターネットを活用した情報提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用 アクセス件数 56,204 件
12) 市受託事業の効率的運営とサービスの向上	(1) 福祉リフトカーの運行促進	<p>障がい者やねたきり高齢者の通院など、2台のリフトカーにより利用者の福祉向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 延 310 回 ・利用者数 延 146 人
	(2) 老人クラブ自動車支援事業の促進 (福祉バスの運行)	<p>老人クラブ会員の研修及び親睦のための支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 延 155 回 ・利用者数 延 5,079 人
13) 次代を担う青少年の健全育成事業の支援	市内青少年の健全育成及び非行防止	<p>子どもの遊び場に設置している遊具の点検を行い、事故防止に努めた。また、青少年の健全育成を図るため、少年少女団体連絡協議会や青少年関係団体等との連携を図るとともに、事業に対する助成などにより支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場 6 か所
14) 社会福祉協議会の運営・事業の透明化	(1) 情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> ・開示件数 0 件
	(2) 個人情報の安全管理	<p>保有する個人情報の適正な管理を行い、安全確保に努めた。</p>
15) 福祉サービス利用者保護のための体制整備	福祉サービスに対する苦情解決	<p>市民からの苦情に速やかな対応を図るため、第三者委員会を設置している。要望や苦情に対しては、速やかな対応に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情・要望件数 0 件 ・第三者委員会の開催 0 回

重点事項	施策の内容	成果
16) 社会福祉事業振興貸付事業の促進	高齢者、障害者施設及び保育施設の整備支援	<p>社会福祉事業振興資金は、福祉施設の新設や増改築費として活用され、社会福祉法人や施設利用者にとっての利便が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16年度～29年度までの貸付件数 10件 ・30年度の貸付件数 0件
17) 共同募金事業の推進	(1) 共同募金会船橋市支会事業の実施及び地域配分の効果的活用	<p>募金に対して市民の理解を得るため、広報紙でのPR及び街頭募金の実施に努めた。</p> <p>なお、「支え合いといたわり合いの地域づくり」を目指し、各種事業において効果的な配分に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配分額 17,548,000 円 ※前年比 Δ 1,829,000 円
	(2) 歳末たすけあい募金の適正配分	<p>配分委員会に諮り、要保護世帯などに対し適正配分を図り、福祉の増進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配分額 21,412,675 円 ※前年比 Δ 723,877 円
18) 居住支援事業の推進	住宅セーフティネット構築のための住宅確保要配慮者に対する支援	<p>住宅相談窓口「住まいるサポート船橋」を運営し、居住支援協議会の事務局として居住支援サービスの利用拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 延相談件数 584 件 相談者数 150 人 物件成約件数 26 件 身じまいサービス契約件数 5 件 同行支援サービス 18 件 協力不動産店 19 店 <p>・高齢者を対象とした講演会の実施 開催日：平成30年11月17日(土) 参加者数：31人</p>

重点事項	施策の内容	成果
19) フードドライブ	フードバンクふなばしが行う フードドライブ事業への参加	<p>企業や家庭で不要となっている食品や食材を募集し、それを必要としている施設などに無償で提供する『フードドライブ』に参加した。</p> <p>第19回:平成30年5月14日(月) ～6月29日(金) 10件 52.5kg</p> <p>第20回:平成30年9月18日(火) ～10月31日(水) 21件 222.4kg</p> <p>第21回:平成31年1月15日(火) ～2月28日(木) 15件 94.3kg</p> <p>フードバンクふなばしに 提供した食品等</p> <p>米、缶詰、瓶詰、フリーズドライ食品、インスタント食品、レトルト食品、飲料等</p>
20) その他の事業	<p>(1) 「一般貸切旅客自動車借上バス」の運行</p> <p>(2) 老人クラブ自動車支援事業の促進(バス借上げ料補助)</p> <p>(3) 各種団体との連携強化</p>	<p>多くの福祉関係団体等が視察研修などを行うことができるよう利用の促進を図るとともに、安全運転に努めた。</p> <p>運行回数 123回 (内リフト付きバス 4回) 利用者数 延 4,277人</p> <p>老人クラブ会員の研修などのためのバス借上げ支援に努めた。</p> <p>運行回数 31回 延利用者 延 898人</p> <p>各種団体及び福祉施設との連携強化により、地域福祉の推進が図られた。</p>

平成30年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年6月

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会